

平成27年度 事業計画

今日、「地方創生」が国全体の重要政策となっている中で、中国情報通信懇談会は創立30周年を迎えることから「地域情報化推進団体」としての役割を發揮し、ICTの利活用による「地方創生」に向けた意義のある活動を展開していくことを懇談会会員全体で再確認するとともに、さらなる発展を目指すため、次の事業を行います。

1 中国情報通信懇談会第30回総会

(1) 日時

平成27年6月1日(月) 午前 10時30分より

(2) 会場

ANAクラウンプラザホテル広島 3階 オーキッド

2 会員に対する情報提供

(1) ホームページの活用等

ホームページを通じ、セミナー・講演会等の Ustream 配信や映像・資料のアーカイブ化を行い、管内遠隔地の会員を含め懇談会内の情報共有を充実させるとともに、事業活動の周知・広報と会員増加への取り組みとして活用します。

(2) C-LINE等の発行

会員向けメールマガジン(C-LINE)は、懇談会主催行事や会員からの情報提供、情報通信に関する中央・地方情報、最新の行政施策・制度等を掲載し、電子メールによりタイムリーな情報提供に努めます。

(3) 電子メール等による情報交換

電子メール等により会員相互間の意見交換及び懇談会事業に対する意見等を把握します。また、より速報性の高い情報を発信します。

3 普及・啓発活動

(1) 懇談会事業

平成27年度は、「ICTによる地域づくり」を事業活動の基本とし、懇談会として部会横断的・年度横断的に取り組むべき政策テーマを選定して、本体事業として取り組むこととします。

① 「ICT街づくり事例展開」による地域づくり

地域情報化に関する政策動向や各地で取り組まれた先進事例の紹介を通じて、地域情報化を担う自治体や関連企業等を対象として、ケーブルテレビ網を活用した生活基盤整備・サテライトオフィス誘致・観光振興などをテーマにICT利活用セミナーを開催します。

② 「放送コンテンツ海外展開」による地域づくり

放送コンテンツの海外展開を中国地域の活性化につなげるため、地域の自治体、

企業、放送事業者等が連携し、海外展開の方策や課題の解決策を探ることを目的に、複数箇所で開催・セミナーを開催します。

③ 「地域オープンデータ推進会議」による地域づくり

中国5県及びオープンデータの取り組みを進めている自治体を対象に、相互間の情報共有と意見交換や他自治体の先進的取り組みを紹介し、オープンデータの円滑な導入や発展的な活用に資する場として推進会議を開催します。

④ 「地域ICT産学官連携」による地域づくり

JGN-Xセミナーとして、これまでNICT（(独)情報通信研究機構）が取り組んできた新世代通信網テストベットの成果や、中国地域における新世代通信網の到達点と課題について紹介し、今後の超高速通信ネットワークの利活用につながるセミナーを開催します。また、中国地域の大学・研究機関・企業やNICTと連携し、研究成果を社会還元するため、防災・エネルギー・医療・製造販売・農林水産・観光など様々な分野で自治体や企業のニーズにつながるフォーラムを開催します。

なお、上記の他に本体事業として「ひろしまIT総合展2015」及び「中国情報通信懇談会設立30周年記念講演会」を実施します。

(2) 支援事業等

地域情報化の推進及び地域産業の活性化の普及発展に寄与すると認められる活動に対して支援を行うとともに、情報通信月間行事への積極的な参加を促進します。

(3) その他

各種行事の開催計画等の情報について、ホームページ等による周知・広報を行います。

4 部会活動

(1) 地域情報化・コンテンツ部会

本体事業に連携して取り組むとともに、中国地域における教育の情報化を推進するため先進的に取り組んでいる自治体（学校）等の事例紹介や、フューチャースクール事例の成果展開について、一層効果的な方策を検討します。また、サイバーセキュリティ月間に併せて、安心・安全な情報通信ネットワーク社会の実現を目指し、研究機関、民間企業の専門家による情報セキュリティの現況分析や課題、今後の展開など、幅広い視点から一般対象にも理解されやすいセミナーを開催し、地域の情報化の促進を図ります。

(2) 電波利用促進部会

本体事業に連携して取り組むとともに、自治体や鉄道・港湾等の公共企業が災害防止のために小型気象レーダーを導入する方策と活用方策について情報共有を行うとともに、小型気象レーダーの実用化に向けた公開実験等と併せたセミナーを開催し、利用イメージの育成と活用機運を高めます。また、近年、ロボット技術の一環として注目されている無人飛行体（Drone）は、安全に活動するために安定した衛星測位の取得や、高精度かつ信頼性の高い三次元地図などの情報が求められることから、その重要性を理解するための講演会や導入の機運を高めるための機器見学会を実施するなどして、電波利用による地域情報化の促進を図ります。

(3) 放送部会

本体事業に連携して取り組むとともに、地方創生に資する放送メディアの利活用方策や

放送の果たす役割等について考え、中国地域における放送の普及・発展に寄与するため、新たに設置する幹事会体制により学習活動の充実を図ると共に、その活動成果を発信するセミナー等を開催するなどして、放送事業者や自治体等の各方面への事業活動等の具体化を促進します。また、放送・通信の連携と地域ビジネス創出等についての研究活動では、中国経済連合会情報通信委員会が取り組む予定の「放送と通信の連携に関わる研究」と引き続き連携し、当会活動との相乗効果を図ります。

(4) 電波の日・情報通信月間推進部会

電波の日・情報通信月間の記念式典を開催するとともに、電波の日・情報通信月間の意義等について広報活動を通じて広く国民に周知します。

5 組織運営等

(1) 顧問会議の開催

最新の政策動向や会員のニーズを事業計画案の策定に反映させるため、懇談会役員、運営委員長、主要企業トップ及び総通局長で構成する顧問会議を、第2回運営委員会の前に開催します。

(2) 運営委員会

運営委員会を年間2回開催し、事業の具体化等に必要な検討を行います。

また、事業のニーズ把握のため電子メールを活用し、多様な意見の反映に努めます。

(3) 新規会員の獲得

当懇談会の一層の発展を図るため、新規会員の獲得に努めます。特に、未加入の市町村への加入促進を行います。

6 その他

懇談会事業や地域のICTの推進に貢献が認められた団体・個人を対象に、その功績をたたえて表彰を行います。

また、中国情報通信懇談会は本年9月に設立30周年を迎えることから、これまで懇談会の運営に貢献をいただいた方々に特別表彰として感謝状を贈呈します。